

《内科》

－スタッフ－

役 職	スタッフ名
診療局長兼部長 兼栄養管理センター長	大野 昭
医 長	矢倉 宏祐
副医長	倉敷 有紀子
医 員	葛城 有希子
非常勤医員	清水 勇雄

－概要－

これまで玉置副院長の指導のもと一般内科と内分泌代謝の診療を行ってきたが、4月、膠原病領域に入交重雄部長、内分泌代謝領域では倉敷由紀子副医長が赴任され、清水医員の昇任を得て少人数ながら他の専門医の協力を得て全人的医療に努めている。

内分泌代謝領域は糖尿病・代謝異常（筋を含む）・内分泌（下垂体・副腎・甲状腺・副甲状腺）を担当し、外来に森下寿々枝先生・矢頃綾先生・梶本忠史先生の応援を得て高度な問題点にも対応している。

局所ホルモンサンプリング・診断困難例では脳神経外科・外科・放射線科・検査科と、内分泌母性内科では産科・周産期センターと共に地域完結医療を実現している。

糖尿病では保健医療計画に位置づけられる泉州2次医療圏地域連携パス委員会を主宰し、医療機関連携・医科歯科連携を促進、泉南地域の実地医家の先生がたとの集中勉強会・コメディカルの資格取得勉強会・和歌山北部まで含む連携構築の会・地域栄養指導を繰り返した。院内看護・薬剤・理学療法・栄養の部門と療養指導チームを明示的に形成して生活習慣病教室（月1回）糖尿病教室（月10回）市民健康講座（年1回）を通して生活習慣病の自己管理能力開発にあたった。

心脳血管事故危険因子を集計し、必要度の高い受療者から血管検査を勧奨しており、糖尿病の重篤血管事故は減少している。

医師事務作業改善の府下活動の運営に参加している。

今後は地域の疾病構造に鑑みて病院内科医が少ない現状に対峙すべく、自戒して救急医を含む協力関係を準備したい。

《膠原病内科》

－スタッフ－

役 職	スタッフ名
部長兼リウマチセンター長	入交 重雄

－概要－

2012年4月より入交部長による膠原病内科診療が開始となり、関節リウマチを中心とした膠原病疾患に対して診療を行っている。病診連携などを通じて週2回の膠原病内科外来の患者数は着実に増加しており、関節リウマチに関してはリウマチセンターを設立し整形外科と協力体制をとっている。生物学的製剤による関節リウマチの治療も積極的に導入している。

《総合内科》

－スタッフ－

役 職	スタッフ名
部 長	倭 正也